

M.C. スパトラディット・ディサクン

# タイ国の美術

柳 博 / レヌカー・M. 訳

井村文化事業社





พจนานุกรม  
ค.ม.จ. สุภักดิ์ ดิสกุล

b 11038147  
i 1136998X



M.C. สปอตราดิทต-ดิศกุล

# タイ国の美術

柳 博 訳  
レヌカー・M.

井村文化事業社



ศาสตราจารย์

ศาสตราจารย์ ดร. สุภักดิ์ ดิสกุล

Compliments from

Professor M.C. Subhadradis Diskul



N  
7521  
S83  
1981

through  
the Ministry of Education



วิทยาลัยเทคโนโลยีและอาชีวศึกษา .C.M

ศิลปในไทย

美術の国

N

Call no.	7321 S82A77
Access no.	001281
Date	7 May 1993

## ศิลปในประเทศไทย

ART IN THAILAND

by

M.C. Subhadradis Diskul ©1981

translated by

Hiroshi Yanagi & Renuka M.

This book is published in Japan  
under the contract between M.C.  
Subhadradis Diskul and Juji Imura.



## 序

機会を得て、タマサート大学に招かれ、教養学部の学生たちに、タイ国の美術について講義したのは、1963年のことでした。その時の講義内容が、本書のもとになっています。講義を終えた後で、教養学部のベッチャリー・スミット講師から、タイ国の美術の教科書を書いてくれないかと頼まれ、この本を書き上げました。初版発行は、同年内でした。

この本をまとめるにあたって、参考にしたのは、ダムロン・ラーチャーヌパーブ王子の著作、ポリバーン・プリパン教授の諸論文、ジョルジュ・セデス教授、ピエール・デュボン教授、ジャン・ポアスリエ教授、その他のタイ国の考古学や美術に関心を寄せる外国人学者たちの論文です。数箇所ではありますが、著者の私見も述べました。

考古学及び美術史は、際限のない学問であります。頼みとする資料の大部分は、まだ、地下に埋もれていて、これからの発掘、調査、時代推定の作業を待っています。新たに発見された資料のほうが、より信頼できるということになれば、従来の資料を捨て置いて、新資料を採択するのが、この学問のやり方です。従って、今後、この本の内容に変更を加えなければならないことも出て来るでしょう。

1963年に初版を発行して以来、この本は、タマサート大学、チュラロンコーン大学、シンラバコーン大学、マハーマクトット仏教大学等で、教科書として使われてきました。改訂加筆した第二版は、アジア財団の助成を受け、シンラバコーン大学考古学部叢書の第三巻として出版されました。『タイ国の美術』英語版も、発行されています。

タイ語版『タイ国の美術』は、版を重ね、今回で第七版になります。この版では、図版の数も増やすとともに、新たに出土した資料も加えて、内容をより充実させました。特に、ロブリー美術については、まったく新しく書き直したと言えます。

この本の出版にあたっては、次の機関及び個人の方々に、お世話になりました。国立博物館所蔵の美術品撮影の便宜をはかり、使用を許可して下さった芸術局。美術品撮影の大部分を担当したビブーン・スパキウィレーカーン氏。又、パイロート・チ

ラボン講師，ウィーラシット・チューセーントーン講師，カモン・チャーヤーワタナ  
助教授にも，謝意を表します。第七版出版の当初より協力して下さったサンティ・レ  
クスクム助教授の厚意にも，感謝いたします。

この書物が，タイ国の考古学及び美術に関心を持つ人々の，多少なりとも役に立て  
ばと願っています。

(モムチャオ・スパトラディット・ディサクン教授)

シンラパコーン大学大学院

1981年

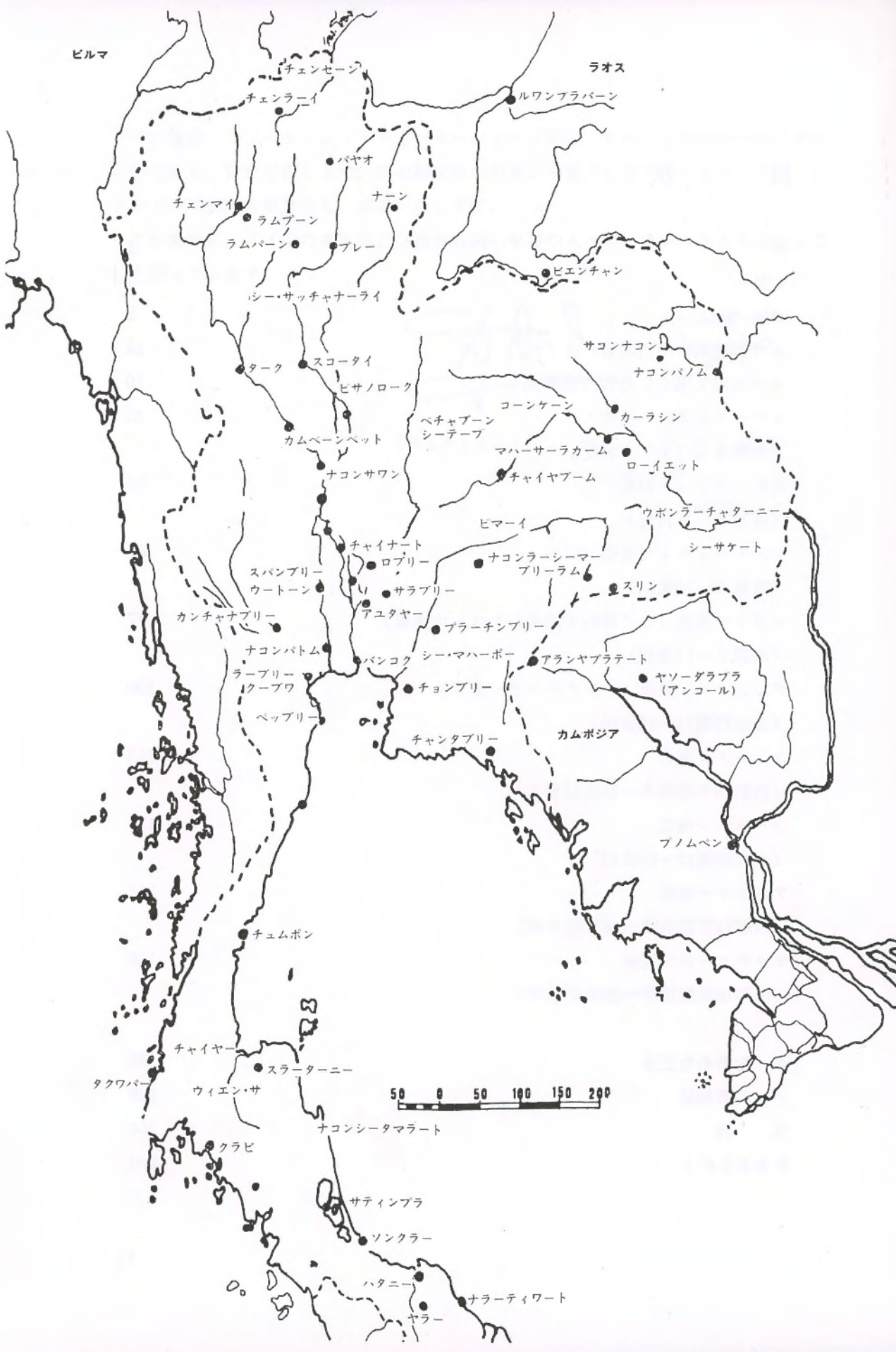
# 目 次

序	1
地図	4
図版一覧表	5
タイ国美術の時代区分	15
タイ国内で出土した古代美術品	16
タワーラワディー美術 (西暦6又は7～11世紀)	25
古代ヒンドゥー神像 (西暦7～9世紀)	56
シー・ウィチャイ美術 (西暦8～13世紀)	65
ロブリー美術(タイ国内で出土したコーム美術) (西暦7～14世紀)	77
チェンセーン美術(ランナー・タイ美術) (推定西暦11～18世紀)	100
スコータイ美術 (西暦13世紀後半～15世紀前半)	113
ウートーン美術 (推定西暦12～15世紀)	134
アユタヤー美術 (西暦14世紀中頃～18世紀中頃)	141
ラタナコーシン美術 (西暦18世紀後半～20世紀前半)	168
タイを治めた王達	185
タイ美術用語	188
凡 例	204
訳者あとがき	206



ビルマ

ラオス



チェンセーン

チェンライ

ルワンプラバン

バヤオ

ナーン

チェンマイ

ラムプーン

ラムパーン

プレー

シー・サッチャナーライ

ビエンチャン

ターク

スコータイ

ピサノロック

サコンナコン

ナコンパノム

カムベーンベット

ベチャブーン

シーテーブ

コーンケー

カーラシン

マハーサーラカム

ローイエット

ナコンサワン

チャイヤブーム

ビマイ

ウボンラーチャターニー

ナコンラーシーマー

ブリーラム

シーサケート

スパンブリー

ロブリー

ウートーン

サラブリー

スリン

カンチャナブリー

アユタヤー

ブラーチンブリー

ナコンパトム

バンコク

シー・マハーポー

アランヤプラテート

ラーブリー

クープワ

チョンブリー

ヤソータラプラ (アンコール)

ベップリー

チャンタブリー

カムボジア

フノムベン

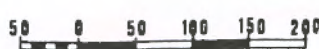
チュムボン

チャイヤ

スラーターニー

タクワバー

ウィエン・サ



ナコンシータマラート

クラビ

サティンブラ

ソンクラ

ハタニー

ナラーティワート

ナラー

## 図版一覧表

特記されているもの及び建造物とその付属物以外のすべての美術品は、バンコク国立博物館に保存されている。

- 第1図 古代ローマのランプ 青銅製 高さ27センチ カーンチャナブリー県ポントック村出土 西暦紀元前 19
- 第2図 説法印を示す仏陀 像高29.5センチ ナコン・ラーシーマー県にて発見 インドのアマラーヴァティー美術 ないしは スリランカの初期アヌラーダブラ美術 西暦4～5世紀 20
- 第3図 鉢をかかえる僧侶 テラコッタ製 高さ16.56センチ スパンブリー県ウートン郡にて出土 現在はウートン国立博物館所蔵 扶南（フナン）美術（？） 西暦3～4世紀（？） 21
- 第4図 与願印を示す仏陀 赤砂岩製 像高16センチ スラターニー県バーン・ナーサーン郡ウィエン・サにて発見 インド美術グプタ様式 西暦4～6世紀 22
- 第5図 仏陀 青銅製 像高20.5センチ カーンチャナブリー県ポントック村にて発見 インド美術ポスト・グプタ期 西暦6～8世紀 23
- 第6図 釈迦八相図 石彫に金箔張 高さ15.5センチ アユタヤーのラーチャプラナ寺のプラン型仏塔地下から発見された。インド美術パーラ様式 西暦8～9世紀 24
- 第7図 禪定印を結ぶ仏陀 青銅製 像高10.5センチ ブリーラム県ワン・パラット村ムーン河畔にて発見 タワーラワディー美術 西暦8～10世紀 34
- 第8図 三十三天より帰還する仏陀（説法印を示している） 青銅製 像高1.09メートル ブリーラム県ラムプライマート郡ファーイ村にて発見 タワーラワディー美術 西暦8世紀初期 35
- 第9図 与願印を示す仏陀 石彫 像高1.47メートル アユタヤー県ロー寺にて発見



- タワーラワディー美術 西暦8世紀初期 36
- 第10図 三十三天より帰還する仏陀 石彫 像高81センチ ロブリー県カオ・サモードン寺にて発見 タワーラワディー美術 西暦8～10世紀 37
- 第11図 ナーガ蛇に守護される仏陀 石彫 1.05メートル プリーラム県ラムプラーイマート郡ファーイ村にて発見 現在はナコン・ラーシーマー県ホウエイタレーン郡 ヒンダード村マッカーラム寺所蔵 タワーラワディー美術初期 西暦7世紀 38
- 第12図 ナーガ蛇に守護される仏陀 石彫 像高75センチ プラチーンブリー県にて発見 タワーラワディー美術 西暦9～10世紀 38
- 第13図 降魔印を示す仏陀 石彫 像高1.39メートル ロブリー県ブラ・シー・ラタナ・マハータート寺にて発見 現在はロブリー国立博物館所蔵 後期タワーラワディー美術 西暦11世紀 39
- 第14図 パナスバディーの上に座る仏陀 石彫 像高67センチ ピサヌロック博物館より移された。 タワーラワディー美術 西暦8～10世紀 40
- 第15図 ヒンドゥー教の神々に説法する仏陀 浮彫（拓本） 仏陀像の像高およそ1.20メートル サラブリー県ゲンコーイ郡タブクワーン村ブラ・ポーティサット洞窟 タワーラワディー美術 西暦8～9世紀 41
- 第16図 マンゴー樹上の双神変及び三十三天にて母君に説法する仏陀 石彫に金箔 図高2.4メートル（枠なし） ナコン・パトムにて発見か（？） 現在はバンコクのスタット寺ウィハーンに安置 タワーラワディー美術 西暦8～10世紀 42
- 第17図 法輪とひざまづく鹿 石彫 法輪の直径2.21メートル ナコン・パトムのプラ・パトム仏塔にて発見 タワーラワディー美術 西暦8～9世紀 43
- 第18図 プラ・パトム仏塔原塔 ナコン・パトム県 現在のプラ・パトム仏塔の南側にある。 西暦19世紀 44
- 第19図 仏塔と法輪のついた柱の間で座禅する仏陀 石彫（浮彫） 7.2×10.2センチ ラブリー県クープワ村にて発見 タワーラワディー美術 西暦8～10世紀 45
- 第20図 仏頭 テラコッタ製 高さ20センチ ナコン・パトム県プラ・ガーム寺にて発見 初期タワーラワディー美術 西暦7世紀 46
- 第21図 神像とアヴァローキテーシュヴァラ菩薩 テラコッタ製 高さ95センチ ラブリー県クープワ村で発見 初期タワーラワディー美術 西暦7世紀 47
- 第22図 降魔印を示す仏陀（プラ・ピム） 亜鉛製 高さ20センチ アユタヤーのシ

## 訳者紹介

### 柳 博 (やなぎ・ひろし)

1943年 外務省入省。

バンコクにてタイ語を研修した後、主としてタイおよび本省に在勤したほか、オーストラリア、アメリカに勤務し、アンカレッジ総領事をさいごに1986年退官。

現住所 横浜市旭区柏町23

### レスカー・ムシカシントン (旧姓名 秋山良子)

横浜に生れる。

国際基督教大学社会科学科卒。

インド政府奨学金によりデリー大学に留学。

東京都立大学大学院修課程、立教大学文学部大学院博士課程修了。

社会人類学専攻、タイ国における大本生経説経の慣行を研究。

訳書 ククリット・プラモート『幾多の生命』(井村文化事業社、1981年)

現住所 62 Soi Chareon Mittr, Sukhumvit 63, Bangkok 11, Thailand

東南アジアブックス 85

タイの美術 1

## タイ国の美術

1987年10月1日 第1刷印刷

1987年10月8日 第1刷発行 定価3,200円

編者 スノバトラディット・ディサクン

訳者 柳 博  
レスカー・M.

発行所 株式会社 井村文化事業社  
東京都渋谷区道玄坂2-16-3

発売所 株式会社 勁草書房  
東京都文京区後楽2-23-15  
電話 03-814-6861  
販替東京5-175253

落丁・乱丁本はおとりかえます ©1987 柳 博 レスカー・M.  
製版/清水印刷 印刷/平文社 製本/和田製本

ISBN4-326-91086-0





**M.C. スパトラディット・ディサクン(M.C. Subhadradis Diskul)**

1923年生れ。ダムロン・ラチャヌパーブ親王の子息。  
チュラロンコーン大学卒。ロンドン大学考古学研究所  
に学ぶ。タイ教育省初等教育局、芸術局考古学部等で  
勤務の後、シンラパコーン大学教授、考古学部長、同  
大学院長を経て、1982年より1986年まで同大学長。著  
作は“Ayudhya Art,” “Art in Thailand,” “Bronze Hindu  
Gods During The Sukhothai Period” など多数。